

## 社会福祉法人 富士旭出学園 役員等報酬規程

### (目的)

第1条 この規程は、社会福祉法人富士旭出学園（以下「当法人」という）定款第8条および第21条の規定に基づき、役員（理事及び監事）及び評議員（以下「役員等」とする）報酬等について定めるものとする。

2 当法人の委員会の規定に基づき、委員の費用弁償について定めるものとする。

### (報酬等の支給)

第2条 役員等には、勤務形態に応じて、次の通り報酬等を支給する。

- (1) 常勤役員については職員の就業日数に準じて業務に従事し、報酬、賞与を支給する。
- (2) 非常勤役員等については、業務に応じた報酬を支給することとし、賞与は支給しない。ただし、法人の旅費規程に基づき、その実費相当額を別途支払うことができる。
- (3) 委員等については、職務を行うための費用を弁償することができる。

### (常勤役員等の報酬等の算定方法)

第3条 常勤役員に対する報酬等の額は、次の各号による報酬等の区分に応じて定めるものとする。

- (1) 報酬については、別表第1に定める額
- (2) 賞与については、別表第2に定める額
- (3) 通勤手当については、職員給与規程通勤手当支給区分表の規定に準ずる額
- (4) 常勤役員が職務のため出張したときは、旅費規程に基づき、旅費（交通費、日当、宿泊料）を支給する。

### (非常勤役員等の報酬等の算定方法)

第4条 非常勤役員等に対する報酬等の額は、次の各号による報酬等の区分に応じて定めるものとする。

- (1) 報酬については、別表第3に定める額
- (2) 非常勤役員等が職務のため出張したときは、旅費規程に基づき、旅費（交通費、日当、宿泊料）を支給する。
- (3) 委員等の費用の弁償については、別表4に定める額

### (当法人職員給与との併給)

第5条 当法人の職員を兼ね、職員給与を支給している者の役員等報酬は、別表5の定めによるものとする。

(報酬等の支給方法)

第6条 常勤役員に対する報酬等の支給時期は、次の各号による報酬等の区分に応じて定める時期とする。

(1) 報酬については、毎月25日とする。ただし、その日が休日に当たるときは、職員給与規程第3条に準じた日とする。

(2) 賞与については、毎年6月及び12月とする。

2 非常勤役員等に対する報酬は、当該会議に出席した都度、支給する。

3 報酬等は、法令の定めるところ及び本人からの申し出により控除すべき金額があったときには、これを控除して支給する。

(報酬等の日割り計算)

第7条 新たに常勤役員に就任した者には、その日から報酬を支給する。

2 常勤役員が退任し、又は解任された場合には、前日までの報酬を支給する。

3 月の中途における就任、退任、又は解任の場合の報酬額については、その月の総日数から日曜日及び土曜日の日数を差し引いた日数を基礎として日割りによって計算する。

4 本条第2項の規定にかかわらず、常勤役員が死亡によって退任した場合、その月までの報酬を支給する。

(端数処理)

第8条 この規定により、計算金額に1円未満の端数が生じたときには、これを1円に切り上げる。

(公表)

第9条 当法人は、この規定をもって、社会福祉法第五十九条の二第三項に定める報酬等の支給の基準として公表する。

(改廃)

第10条 この規定の改廃は、評議員会の承認を受けて行う。

(補則)

第11条 この規定の実施に関し、必要な事項は、理事長が理事会の決議を経て、別に定めることとする。

附則 この規程は、平成29年4月1日より施行する。

別表1（常勤役員の報酬）

役 職 名	報 酬 の 額
理事長	月額 260,000円

別表2（常勤役員の賞与）

6月の賞与	報酬月額 × 2.3ヶ月分
12月の賞与	報酬月額 × 2.3ヶ月分

別表3（非常勤役員等の報酬）

	報酬の額	
評議員	評議員会への出席	日額 5,000円
理 事	理事会等会議への出席	日額 5,000円
監 事	理事会等会議への出席	日額 5,000円
	監事監査等への出席	日額 10,000円
	上記の他、法人及び施設業務のための出勤	日額 10,000円

別表4（委員等の日当・費用弁償）

	日当の額	
評議員選任・解任委員	委員会等への出席	3,000円
苦情解決第三者委員		

別表5（職員給与との併給）

当法人職員を兼務し、職員給与を支給している役員に対しては、本規定に基づく役員報酬等は支給しないものとする。